

株主の皆さまへ

第 69 期 株 主 通 信

2025年4月1日～2026年3月31日

 かどや 製油株式会社



ひらけ、ごまの可能性。



代表取締役会長

久米 敦司

代表取締役社長

北川 淳一

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は1858年に香川県小豆島で創業して以来、美味しさ・安心・安全へのこだわりを大切に、ごまの価値を追求し続けてまいりました。

これまで当社の製品をご愛顧いただいている皆様への感謝を胸に、これからもごまを通じて人びとの暮らしに寄り添い、食卓への価値提供に努めてまいります。

今後も、株主の皆様とともに歩みながら、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

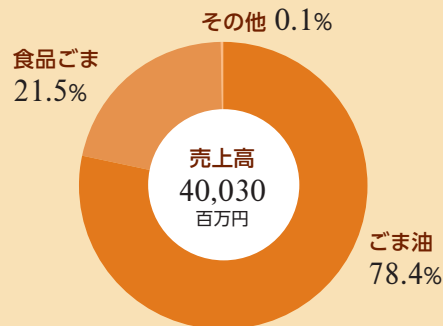
当期の業績

当社グループは、2026年3月期において販売数量の増加を主因として、売上高は前期比1.4%増の400億円となりました。販売単価はやや低下したものの、家庭用・業務用ともにごま油の需要が伸長し、食品ごまも加工ユーザー向け高付加価値製品を中心に堅調に推移しました。利益面では、副資材費や人件費の増加があった一方で、主原料価格の低下等により売上原価が改善し、収益性が向上しました。その結果、営業利益は3,818百万円(前期比651百万円増)、経常利益は4,060百万円(同666百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,724百万円(同367百万円増)となり、増収増益を達成いたしました。食品業界全体ではコスト上昇や消費動向の変化など厳しい環境が続く中でも、安定した成長を確保しています。

(百万円)

売上高	2025年3月期	2026年3月期	前連結会計年度比
ごま油	31,081	31,401	101.0%
食品ごま	8,269	8,611	104.1%
その他	99	16	16.7%
合 計	39,450	40,030	101.4%

※金額は表示単位未満切捨て



※小数第二位以下切捨て

来期の見通し

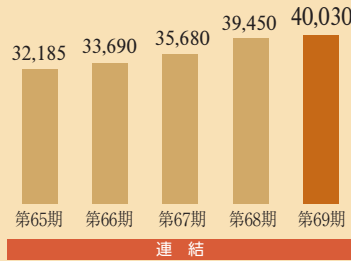
今後の事業環境は、原材料価格やエネルギー費、物流費の高止まりに加え、為替変動や地政学リスクなどの影響により不透明な状況が継続すると見込まれます。このような中、当社グループは中期経営計画に基づき、持続的成長に向けた取り組みを推進してまいります。具体的には、付加価値商品の拡充や適正価格の実現による収益力の向上、ブランド価値の強化に注力します。また、北米市場を中心とした海外展開の強化や新商品開発、研究開発体制の充実を図るほか、人的投資やDXの推進により経営基盤の強化を進めます。これらの取り組みにより、変化の激しい環境に柔軟に対応しながら、さらなる成長と企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社は「ファンベース経営」を軸に、製品・ブランドへの共感を基盤とした持続的な成長を目指しております。株主還元につきましては、「連結の親会社株主に帰属する当期純利益の40%」または「連結株主資本配当率(DOE)3.5%」のいずれか高い方を目処とし、2026年3月期の期末配当金は1株当たり137円といたしました。また、株式分割の実施により投資しやすい環境を整備し、株主層の拡大にも取り組んでまいります。今後も成長投資と株主還元のバランスを重視し、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

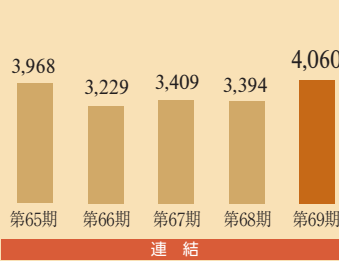
売上高

(百万円)



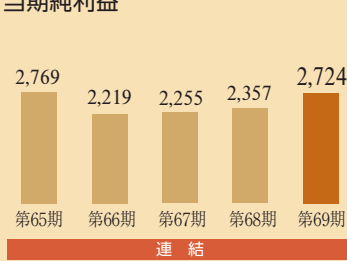
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益

(百万円)



(注) 第67期より「重要なヘッジ会計の方法」の変更に係る会計方針の変更を行っており、第66期に係る各数値については、遡及修正後の数値となっております。



当社が大切にしている価値

当社は、「ごま」の価値を通じて、食の楽しさと健康を広げていくことを目指しています。
その取り組みを株主の皆様とともに進め、長く応援いただける企業でありたいと考えています。

P

パーパス(存在意義)

ごまの価値を極限まで高めることで、世界に貢献する。

V

ビジョン(ありたい姿)

「ごま」を通じて社会課題の解決に取り組み、
社員と会社の両方が持続的に成長する。

V

バリュー(大切にしている価値観)

ご: ごまのパイオニア

ま: まずは、お客様第一主義

せ: 誠実、公平、偽りなく行動

さ: 差別なく、異なる考え方、文化、社会に敬意

み: 自ら挑む、常に変化を生む

25年度は、PVV浸透の基盤整備を実施

PVVブック配布と社内ワークショップ開催により、PVV浸透の基盤を整備

ファンベース経営の実践

かどやのごま油で世界中の方々に笑顔届けたい！

当社は、醤油が世界に広がったように、
「ごま」の価値を極限まで高め、美味しさと健康を世界に届け、
「KADOYAごま油」が世界中の食卓に並ぶ未来を切り拓く



当社の取り組みに対して世界中の
人びとに共感していただき、
ファンになっていただきたい

世界中のあらゆる店舗・食卓に
かどやのごま油が並ぶ世界を目指す！



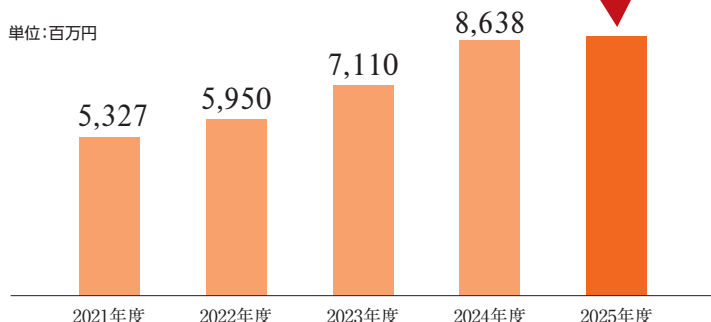
海外市場 海外事業の売上で過去最高額を達成

海外事業の売上で過去最高額を達成。米国を販売の土台として維持・拡大を進めてまいります。

海外売上高

北米を中心に需要は堅調に推移し、販売数量の成長を維持しました。海外事業の伸長により売上高は過去最高を更新しました。
また、米国現地法人の設立により、販売体制の強化を進めています。

単位:百万円



過去最高を更新
8,745

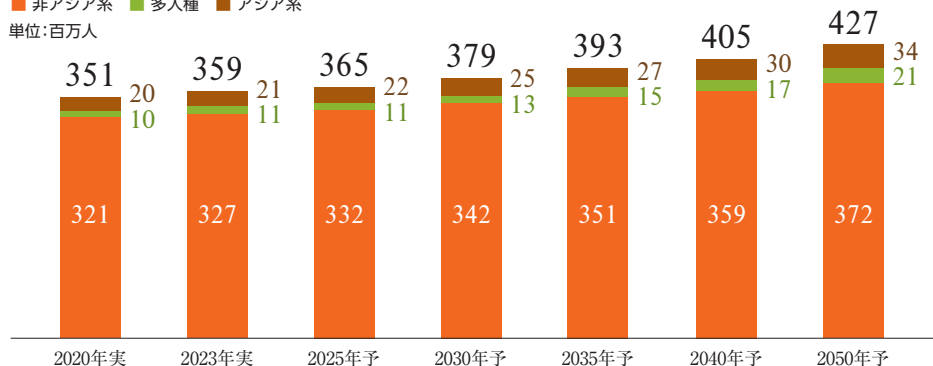


展示会の様子

米国人口動態予測

人口成長率の高い市場であるオリエンタル市場に加え、アジア系以外（メインストリーム市場）へも拡大してまいります。

■ 非アジア系 ■ 多人種 ■ アジア系
単位:百万人



【既存】

現在の主要市場
オリエンタル市場

年平均成長率9.6%で人口伸長を見込み、
人口比率も今後30年で9%まで上昇

【新規】

メインストリーム市場

GDP最大規模国家の
主要市場への拡販余地が
大きい

出典元:2023/the United States Census Bureau

ごまのみらい小豆島プロジェクト



創業の地である香川県・小豆島の地域活性化に向け、小豆島土庄町と連携し、「ごまでつながる持続可能な島」を目指す地域創生プロジェクト「ごまのみらい小豆島プロジェクト」を、前年に引き続き2025年も実施しました。



“かどや製油は、「ごまの未来を、次の世代につなぐ」ことを本気で考え、世界的に原料調達が難しくなる中で、ただ原料を買い続ける会社ではなく、自ら畑に立ち、ごまと向き合い続ける存在でありたい”



創業の地「小豆島」での
ごま栽培は、その第一歩です。

簡単な挑戦ではありませんが、「ごまの会社」として責任を持ち続けるために、あえて時間と手間のかかる道を選びました。

私たちはこの挑戦を、長い目で見守り、応援していただける仲間を増やしていきたいと考えています。



個包装タイプ 使い切りパック 純正ごま油 発売



個包装タイプごま油「使い切りパック 純正ごま油」を、2026年3月2日(月)より全国で発売いたしました。

本商品は、「既存製品を使い切れない」「ごま油を持ち運びたい」「開封後の鮮度が気になる」というお客様の声にお応えした商品となっております。

パッケージのデザインは一般消費者向けの調査および社内アンケートを参考に決定いたしました！

ごま油 卵かけ醤油 販売



- フンドーキン醤油様と協業し、新商品「かけるだけで食欲そそる朝ごはん～ごま油卵かけ醤油」を上市。
- 日本の朝食欠食率は13.5%、年間1.8兆円分の朝食が食べられていない。「時間がない」という理由が最多。

こうした社会課題の解決にも
寄与したいとの想いで開発
しました！



純正ごま油と全国を旅する
キッチンカー企画

ごまたびを実施

メディア
総リーチ
約8,000万人を
獲得

全国9か所でキッチンカーを展開し、ごま油を使い、「かける美味しさ」を体感いただく機会を創出いたしました。

メディアにもとりあげていただき、テレビ・デジタルを中心に総リーチ数は約8,000万人に達しました。

ご来場いただいた方からは「いつも使っています」「また来てほしい」「新しい使い方を知れて嬉しい」といった声が多く寄せられ、既にご愛用いただいている方からの支持に加え、新たな使い方への発見につながる機会となりました。各地で行列ができるなど、多くの方にご好評をいただきました。

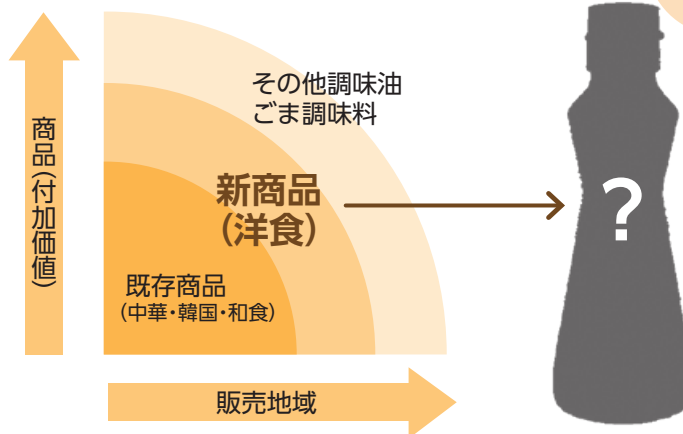


かどやのごまたび
特設サイトは



ごま油の常識を変える新商品 発売予定

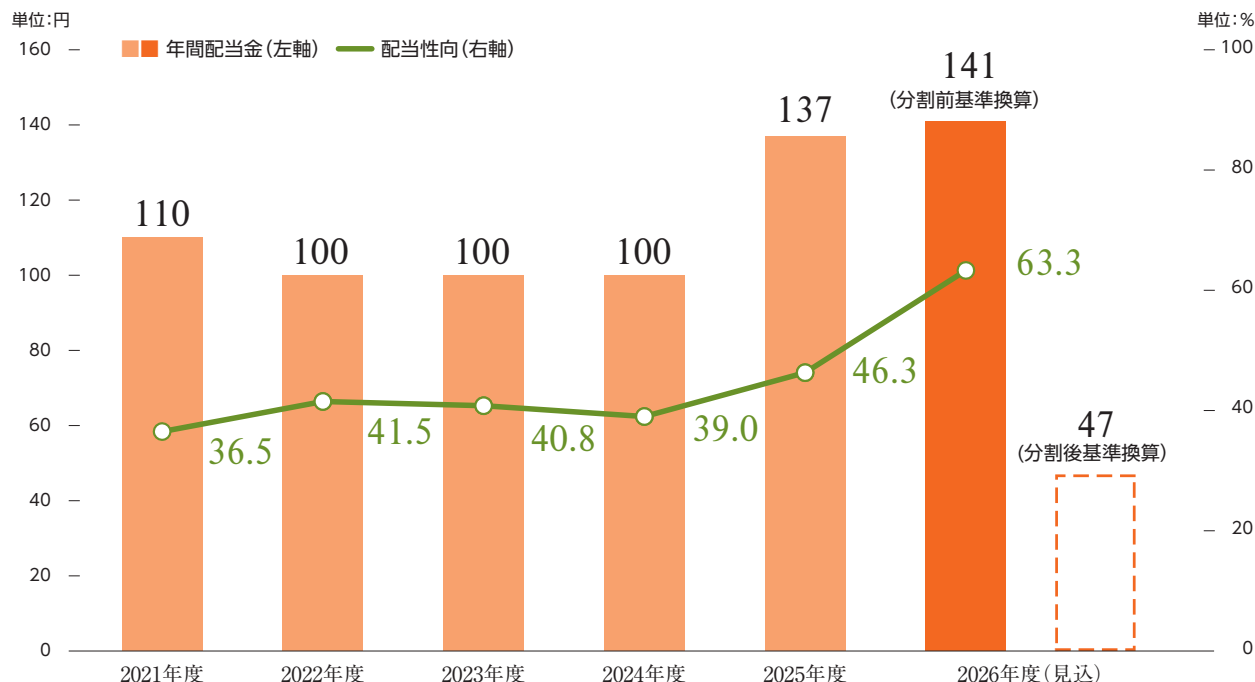
今年の秋に「洋食に合うごま油」を上市予定。洋食に合う風味の商品を投入し、「かける・仕上げる」といった新しい使い方を提案します。



DOEの導入

株主の皆様との中長期的な関係を重視し、株主還元方針を見直しました。DOEの導入により安定配当を強化するとともに、株式分割を通じて投資利便性の向上を図ります。

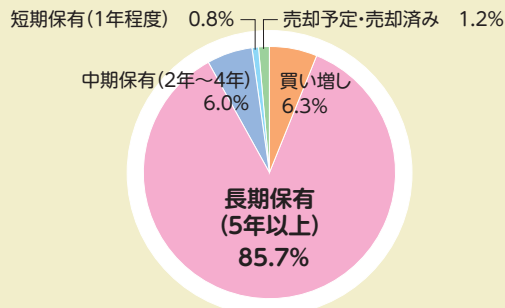
- 2026年3月期末基準の配当より、株主の皆様との中長期的な関係を重視し、配当の安定性確保および水準向上を目的として、DOEを導入
- 「連結の親会社株主に帰属する当期純利益の40%」または「連結株主資本配当率(DOE)3.5%」のいずれか高い方を目処とし、利益に左右されない安定配当を実施
- 株式分割(1株→3株)を実施。ファンベース経営の下、個人投資家の皆様がより投資しやすい環境を整備



昨年の株主アンケートにつきましても、多くの株主の皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。4,670件(回答率35.3%)のご回答をお寄せいただきました。その結果につきまして、概要をご報告いたします。

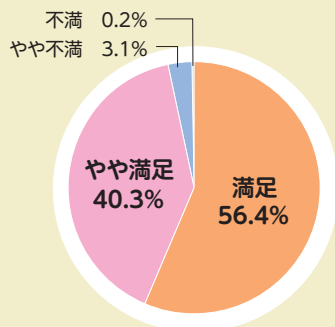
1 当社株式の今後の保有方針

当社株式の今後の保有方針については、「長期保有(5年以上)」が85.7%を占め、株主の皆様の中長期的な視点でご支持いただいています。短期保有や売却意向は限定的であり、安定的な株主構成となっています。



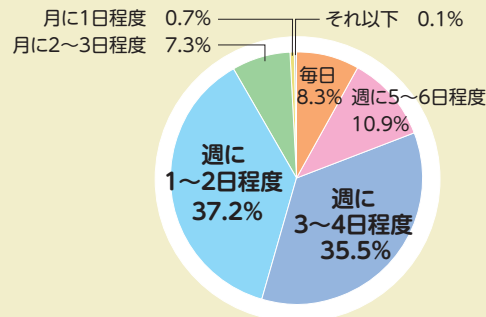
2 株主優待制度の総合評価

株主優待制度の総合評価は、「満足」「やや満足」が96.7%と高い評価をいただきました。一方で、「保有株数に応じたランクアップ」については改善に関するご意見も寄せられています。



3 純正ごま油の使用頻度

当社の純正ごま油については、週1～2日(37.2%)、週3～4日(35.5%)と日常にご使用いただいています。また、毎日または週の大半で使用される株主の方も一定数おり、日々の食生活に深く浸透していることがうかがえます。



株主の皆様からは、長期保有を前提としたご期待や、当社商品・株主優待に対する高い評価をいただきました。今後もいただいたご意見を活かし、株主還元およびIR活動のさらなる充実に努めてまいります。

会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	かどや製油株式会社 (Kadoya Sesame Mills Incorporated)
資本金	21億6,000万円
創業	安政5年(西暦1858年)
設立	1957年5月2日
事業内容	ごま油、食品ごま等の製造販売
従業員数	407名(連結:530名)
事業所	本社 工場／小豆島工場、袖ヶ浦工場 支店／仙台支店、東京支店、名古屋支店 大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所／札幌営業所
子会社	カタギ食品株式会社 Kadoya America Inc.

株主メモ

事業年度 基準日	毎年4月1日から翌年3月31日まで 毎年3月31日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ 公告いたします。
定時株主総会 期末配当金支払株主確定日	毎年6月下旬 毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (電話お問合せ) (郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子 公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。 〈公告掲載アドレス〉 https://www.kadoya.com/ 東京証券取引所 スタンダード市場
上場取引所 証券コード	2612



本社 〒141-0001 東京都品川区北品川5丁目1番18号
TEL 03(6721)6957
<https://www.kadoya.com/>

株主優待制度について

日頃のご支援への感謝を込めて、毎年3月31日現在、100株以上ご所有の株主の皆様へ「ごま製品詰め合わせセット」をお届けしております。

本年も、小豆島ならではの特産品を含めた特製セットをご用意いたしました。

なお、株式分割に伴い、2027年分以降は300株以上保有の株主様を対象とした制度へ変更となります。

割当基準日	3月31日
基準	所有株式数(2027年3月31日時点) 1 300株以上保有の株主様 2 3,000株以上保有の株主様
内容	1 当社製品等の詰め合わせ(小) 2 当社製品等の詰め合わせ(大)
贈呈時期	お届けは6月下旬頃の予定となります。



1 300株以上保有株主様への贈呈品例



2 3,000株以上保有株主様への贈呈品例